

広島県地方産業教育審議会中間報告（概要）

本県の専門高校・専門学科における「次代の産業を担う人づくり」の在り方・方策について
「夢」でつながる学校・地域・産業界等のネットワーク

1 産業社会の現状及び課題

(1) 産業社会の現状	産業構造の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の産業別就業者は第3次産業就業者が増加している。 ・製造業、輸送用機械や鉄鋼などの産業群に加え、ハイテク関連産業の集積が進展してきた。
	高校生をめぐる雇用情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の高校生に対する求人倍率が上昇している。 ・県内の専門高校・専門学科の卒業者に占める就職率は他学科に比べ上昇している。 ・高等学校就職卒業者の3年間の離職率は減少している。
(2) 産業社会をめぐる課題	労働力人口の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県の労働力人口及び労働力率は減少している。 ・団塊の世代の引退などによる技能の継承や人材確保が急務である。
	学校から社会への移行をめぐる課題	<ul style="list-style-type: none"> ・従来型の雇用慣行が見直されるなど、若者にとって、将来の生活や社会人・職業人としての生き方を描くことが難しくなっている。 ・若者の勤労観、職業観の未熟さ、コミュニケーション能力や対人関係能力、基本的マナー等、職業人としての基礎的資質・能力の低下が指摘されている。

2 本県の専門高校・専門学科の現状及び課題

：現状， ：課題

総 論	<p>専門分野に関する知識・技術等を生かした就職、専門分野に関する知識・技術等をさらに深めるための大学等への進学等、進路状況が多様化している。</p> <p>小・中学生に専門高校・専門学科について理解させ、ものづくり等への興味・関心を高めるための取組みが必要である。</p> <p>教員が専門的知識や高度な技術を確実に身に付けるなど、指導力の向上が必要である。</p> <p>地域や社会のニーズに応える教育内容の創造、関係機関等との連携や学習環境の整備が必要である。</p>
(1) 農業科	<p>より高度な専門的知識や技術を習得するため、大学等の高等教育機関へ進学する生徒が増加している。</p> <p>関係の高等教育機関等と連携を図り、高等学校から高等教育機関等への系統的な農業教育を行うための教育課程を工夫する必要がある。</p>
(2) 工業科	<p>各学科において、ものづくりを通して、急速な産業社会の変化に対応できる各分野の技術者を育成している。</p> <p>地域産業と連携したものづくり人材育成に重点を置く必要がある。</p>
(3) 商業科	<p>簿記・情報などのビジネス分野に関する基礎的・基本的な知識・技術の定着を図るとともに、専門的職業人を目指して各種検定等に挑戦し、資格取得に取り組んでいる。</p> <p>商業科を卒業した生徒が高等学校で取得した資格を生かす方策について、高等教育機関等と連携する必要がある。</p>
(4) 家庭科	<p>より高度な専門的知識や技術を習得するため、大学等の高等教育機関へ進学する生徒の割合が高い。</p> <p>高齢者にかかわる専門的な職業及びその従事者の育成に係る教育内容の工夫・改善が必要である。</p>
(5) 看護科	<p>看護に関する専門性と豊かな人間性を備えた看護師を養成するため、老年看護、医療福祉、地域医療等に関する教育内容の充実に取り組んでいる。</p> <p>医療の高度化、患者の高齢化・重症化等に対応した教育内容の充実が必要である。</p>
(6) 福祉科	<p>介護福祉士国家試験の合格率は増加傾向にある。</p> <p>大学や専門学校への進学や福祉関係への就職等、多様な進路に対応する教育内容の創造が必要である。</p>

専門高校・専門学科に求められる役割	<p>本県の専門高校・専門学科において次のような人材の育成が求められる。</p> <p>将来のスペシャリストとして必要な専門性の基礎・基本に加え、実践力、課題解決能力等を身に付けた人材の育成</p> <p>将来の地域産業を担う人材の育成</p> <p>人間性豊かな職業人の育成</p>
-------------------	--

3 「次代の産業を担う人づくり」の在り方・方策

<p>(1)県内の人的・物的資源を活用した教育指導の充実について</p>	<p>人的資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ等の受入企業のリスト及び外部講師の人材リストを作成する。 ・企業等において行う人材育成や自己啓発のための研修等に教員が参加したり、教員が行う研究発表会等に企業関係者を招く機会を設ける。 ・生徒が最先端の技術に触れたり、各専門分野の専門家から直接指導を受ける機会を拡充する。 <p>物的資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最先端の研究成果や研究施設・実験装置等を有する大学、公的研究機関、民間企業等と高等学校との連携を深める。 ・大学や高等技術専門学校などの関係機関及び専門学校・専門学科が有する施設・設備を活用し、実践研究（「課題研究」）に取り組む。
<p>(2)産業界や継続する教育機関等との協力・協働体制づくりについて</p>	<p>産業界などとの協力・協働体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「専門学校・専門学科教育人材育成機構（仮称）」を設け、産業界・経済界、大学、専修学校、関係行政機関が一体となって、専門学校・専門学科の指導内容・指導方法の充実及び人的・物的資源の活用方法などについて検討する。 ・「専門教育支援体制協議会（仮称）」を設け、行政等関係機関や商工会議所などの団体等が連携し、地域産業界を担う人材の育成について協議する。 <p>小・中学校との協力・協働体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校への出張授業、小・中学生が産業技術等に親しむことができる木工教室などの催物を開催する。 ・学習成果発表会などを通して、中学生及び保護者等に専門学校・専門学科についての情報を提供する。 <p>高等教育機関等との協力・協働体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等の教員による出張講義や大学等の講義を高校生が受講する機会を拡充する。 ・高等学校で取得した資格を活用した入試の方法など、高等教育機関と高等学校との接続の在り方について検討する。
<p>(3)高度な技術を持った教員の養成について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の研修計画に、企業及び経済界等が主催する研修会への参加を取り入れる。 ・教員が企業、経済界及び行政が主催する研修会等に参加する。 ・先端技術など産業社会の進展に対応した研修の機会を拡充する。 ・企業等の協力を得ながら、海外の日本企業で研修できる機会を確保する。
<p>(4)専門学校拠点校の機能の強化について</p>	<p>拠点校の役割の機能化・個性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最先端の教育内容の研究開発に取り組む。 ・大学等における学修の単位認定も念頭においた高大連携の推進や高度な資格取得のための指導を強化する。 ・他校の教員の指導力を向上させる取組みを充実する。 ・小・中学校でのキャリア教育をサポートするなど、職業教育のセンター的な役割を一層発揮する。
<p>(5)地域性を考慮した専門学校間のネットワークづくりについて</p>	<p>地域に根ざした特色ある学校の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科の専門性を生かした専門学校間のネットワークをつくる。 ・「広島県高校生スペシャリストの祭典」の内容を一層充実・発展させる。 ・専門的な知識や技術を持つ教員が相互に学校を訪問し、授業参観や教員対象の研修会等を行う。 ・広島県の高校生版技能オリンピックを開催する。

4 本県の専門教育の今後の在り方

<p>(1)次代の産業に対応した専門教育の創造</p>	<p>専門学科の枠にとらわれない視野の広い専門教育の教育内容の工夫・改善</p> <p>近年の介護・福祉ニーズの多様化・高度化に対応した教育内容の工夫・改善</p> <p>環境に関する課題を解決するプロジェクトチームの組織及び環境問題の解決に向けた研究開発</p>
<p>(2)起業家精神を育む専門教育の創造</p>	<p>起業意欲や新たな産業分野・形態・領域へ挑戦する意欲の向上</p> <p>地域の産業界の担い手として貢献する意欲や実践力、創造力を持った人材の育成</p>
<p>(3)国際化に対応した専門教育の充実</p>	<p>国際社会に生きる自覚を深めさせる機会の設定</p> <p>国際社会や社会の変化に的確に対応できる人材を育成</p>